

□特 集

令和4年京都市人口動態統計(概数)の概要

合計特殊出生率が0.04ポイント低下

— 全国も同じく0.04ポイント低下 —

悪性新生物による死亡率は一貫して上昇

— 依然として悪性新生物による死亡が最も多く、総死亡数の25.4%を占める —

自然減少数は前年と同じく1万人を超える

— 自然増減率は1.6ポイント低下、依然として自然減少が続く —

府健康福祉総務課

はじめに

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」について、その実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されています。

出生、死亡、婚姻及び離婚については、「戸籍法」による届出書から、死産については、「死産の届出に関する規程」による届書等から、その届出を受けた市区町村長が調査票を作成します。

これらの調査票は、保健所長、都道府県を經由し、厚生労働省に提出されます。

厚生労働省では、これらの調査票の毎月分及び年間分を集計して、人口動態統計月報(概数)、人口動態統計年報として公表しています。

この概要は、令和4年1月1日から12月31日までの間における京都市分について取りまとめたもので、数値は概数です。

1 出生

— 出生数は7年連続で減少、

出生率は0.2ポイント低下—

令和4年の出生数は、1万5068人で前年より750人減少しました。

出生率(人口千対)は6.1で、前年に比べ0.2ポイント低下しました。

近年の出生数の推移をみると、昭和48年の第2次ベビーブーム期のピーク(4万4885人)以降減少し、昭和62年(2万6603人)には昭和41年(ひのえうまの年)の2万7755人を、平成26年(1万9583人)には2万人を下回るなど、概ね減少傾向が続いています。

(表1、図1)

表1 人口動態総覧、対前年比較

(単位:人)

	実 数					率		率(全国)	
	令和4年	令和3年	増減	増減割合(%)	平均発生間隔	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
出生	15,068	15,818	△750	△4.7	34分52秒	6.1	6.3	6.3	6.6
死亡	31,489	28,316	3,173	11.2	16分41秒	12.7	11.3	12.9	11.7
(乳児死亡)	31	18	13	72.2	282時間34分	2.1	1.1	1.8	1.7
(新生児死亡)	14	8	6	75.0	625時間42分	0.9	0.5	0.8	0.8
自然増減	△16,421	△12,498	△3,923	△31.4	…	△6.6	△5.0	△6.5	△5.1
死産	322	316	6	1.9	27時間12分	20.9	19.6	19.3	19.7
婚姻	9,570	9,417	153	1.6	54分55秒	3.9	3.8	4.1	4.1
離婚	3,515	3,658	△143	△3.9	2時間29分	1.41	1.46	1.47	1.50

注1 令和3年は確定数

2 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は日本人人口千対、乳児・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対

3 算出に用いた京都市の人口は、令和4年=2,485,000人(令和4年10月1日現在・都道府県・男女別人口(日本人人口))

4 自然増減:出生数から死亡数を減じたもの

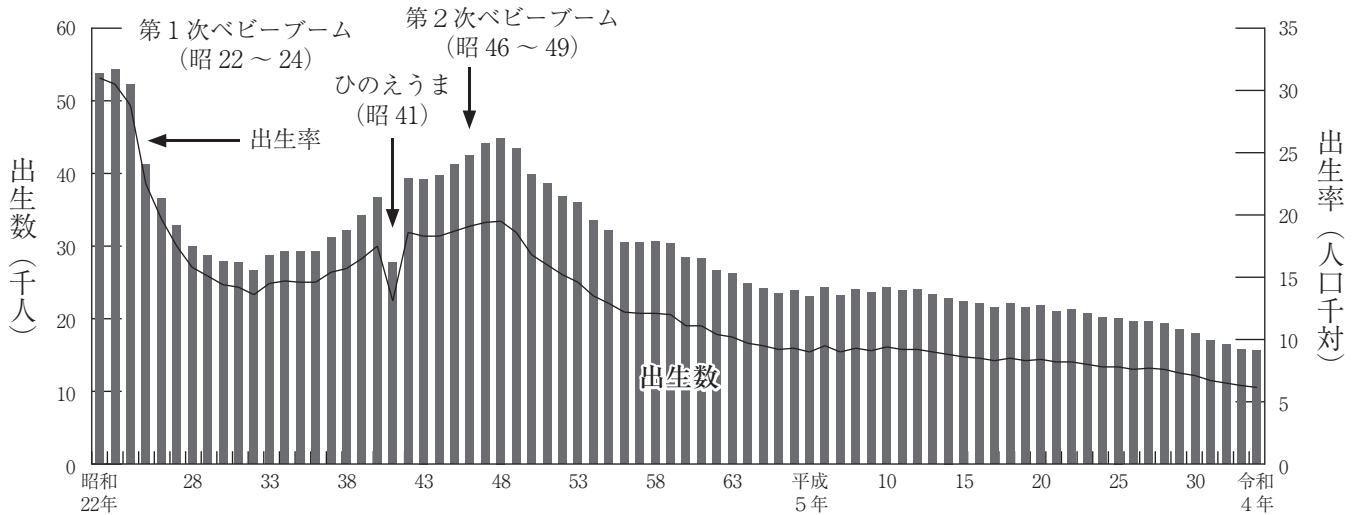
5 乳児死亡:生後1年未満の死亡数

6 新生児死亡:乳児死亡のうち、生後4週未満の死亡数

7 死産:妊娠満12週以後の死児の出産

8 平均発生間隔:1件当たりの事象発生が、どれだけの間隔をもって発生したのかを表したもの

図1 出生数・出生率の年次推移



合計特殊出生率は 1.18

一前年より 0.04 ポイント低下  
全国も同じく 0.04 ポイント低下

令和 4 年の合計特殊出生率は 1.18 で、前年の 1.22 より 0.04 ポイント低下しました。(表 2)

母の年齢階級別にみると、最も出生率が高かったのは、30～34 歳の層で、出生率は 93.1 (出生数 5492 人) となりました。

30～34 歳の出生率は、昭和 53 年以降上昇傾向にあり、平成 12 年には、25～29 歳の層を上回り、その後は出生数・率ともに第 1 位となっていますが、平成 27 年 (出生率 102.3) 以降は概ね横ばいで推移しています。

第 2 位は、25～29 歳の層で、出生率は 58.8 (出生数 3706 人) となりました。25～29 歳は昭和 47 年 (出生率 213.8) をピークに低下傾向が続いています。

第 3 位は 35～39 歳の層で、出生率 56.3 (出生数 3775 人) となりました。35～39 歳の層は上昇傾向が続いており、25～29 歳の層との出生率の差が昭和 53 年は 165.7 ポイントありましたが、令和 4 年には 2.5 ポイントまで縮小しています。

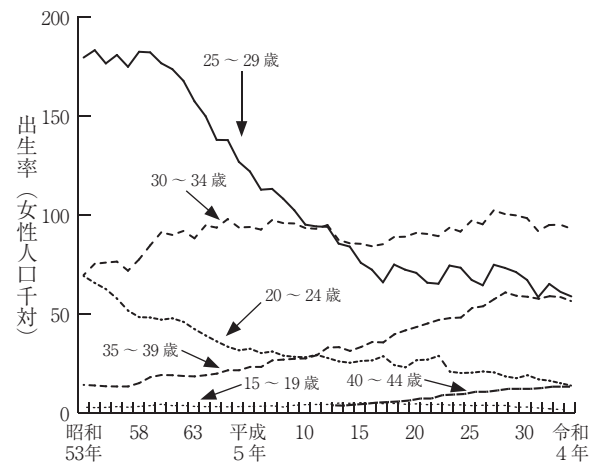
第 4 位は 20～24 歳の層で、出生率 13.6 (出生数 969 人) となり、出生率については、14 を下回りました。(図 2)

表 2 合計特殊出生率の推移

年次	京都府	全国
昭和 40 年 ※	2.02	2.14
45 ※	2.02	2.13
50 ※	1.81	1.91
55 ※	1.67	1.75
60 ※	1.68	1.76
平成 2 年 ※	1.48	1.54
7 ※	1.33	1.42
12 ※	1.28	1.36
17 ※	1.18	1.26
18	1.19	1.32
19	1.18	1.34
20	1.22	1.37
21	1.20	1.37
22 ※	1.28	1.39
23	1.25	1.39
24	1.23	1.41
25	1.26	1.43
26	1.24	1.42
27 ※	1.35	1.45
28	1.34	1.44
29	1.31	1.43
30	1.29	1.42
令和元年	1.25	1.36
2 ※	1.26	1.33
3	1.22	1.30
4	1.18	1.26

※は国勢調査年

図 2 母の年齢階級別出生率の年次推移 (人口千対)



合計特殊出生率とは、その年の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、その年の女性の年齢別出生傾向が将来も変わらないと仮定した場合、1 人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数に相当します。

## 2 死 亡

### 一死亡数、死亡率はともに増加一

令和4年の死亡数は3万1489人で、前年より3173人増加し、死亡率（人口千対）は12.7と7年連続で10を上回りました。（表1、図3）

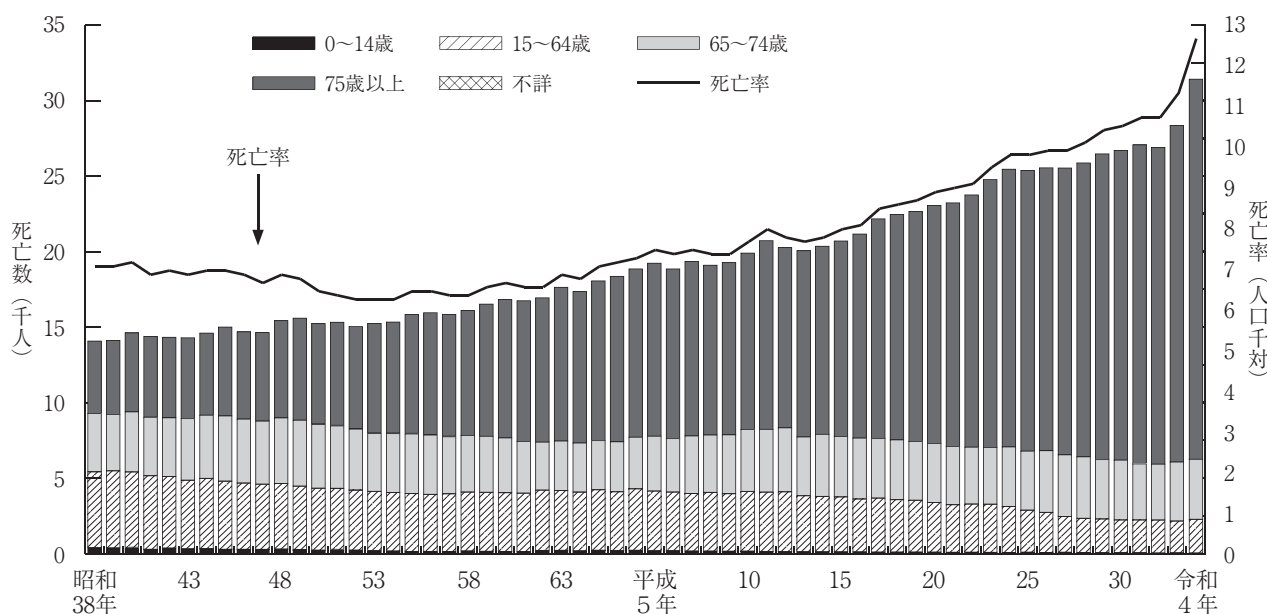
死亡数の推移をみると、昭和44年以降1万5千人～1万9千人台で推移していましたが、平成11年に2万人台となって以後、ゆるやかな増加傾向が続いています。

かな増加傾向が続いています。

令和4年については、年齢別死亡数では、全ての世代において増加しました。

死亡率は昭和35年（死亡率7.7）以降低下傾向にあり、52～54年に3年連続6.3と戦後最低を記録した後、ゆるやかな上昇に転じ、平成13年（同7.7）以降は上昇傾向が顕著になり、令和4年は前年より1.4ポイント上昇し、12.7で過去最高となりました。（図3）

図3 死亡数・死亡率の年次推移



## 3 死 因

### 一悪性新生物による死亡率は一貫して上昇一

死因順位の第1位は悪性新生物（がん）で、令和4年の死亡数は7989人で、前年より250人増加、死亡率（人口10万対）は321.5で、前年より12.6ポイント上昇しました。悪性新生物による死亡が総死亡数に占める割合は25.4%でした。

第2位は心疾患の5185人で、前年より526人増加、死亡率は208.7で、前年より22.7ポイント上昇しました。

第3位は老衰で、令和4年の死亡数は前年より523人増加の3513人、死亡率は141.4となり、前年より22.0ポイント上昇しました。

第4位は脳血管疾患の2053人で、死亡率は82.6となり、前年より4.3ポイント上昇しました。

第5位は誤嚥性肺炎で、死亡数は1241人、第6位は肺炎で、死亡数は1166人でした。自殺は、死亡数が361人となり、前年より27人低下しま

した。自殺死亡率は14.5でした。

また、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の3大生活習慣病による死亡が総死亡数に占める割合は、48.4%となりました。（表3、図4）

### 一悪性新生物(がん)部位別トップは「肺」一

悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率（人口10万対）をみると、第1位は前年に引き続き「肺」で死亡率は67.7で、前年より1.9ポイント上昇しました。

第2位は平成25年から引き続き「大腸」で死亡率は42.1で、前年より1.9ポイント上昇しました。

第3位は「胃」で死亡率は33.0で前年より0.9ポイント低下しました。第4位は「肝」で、死亡率は21.0で、前年より1.3ポイント上昇しました。

また、肺、大腸、胃の上位3疾患で悪性新生物死因総数の44.4%を占めています。（図5）

表3 死亡順位

死因順位	令和4年	死亡数(人)	死亡率	死亡総数に占める割合(%)	令和3年	死亡数(人)	死亡率	[参考] 全国(令和4年)	死亡数(人)	死亡率
第1位	悪性新生物	7,989	321.5	25.4	悪性新生物	7,739	308.9	悪性新生物	385,787	316.1
2	心疾患	5,185	208.7	16.5	心疾患	4,659	186.0	心疾患	232,879	190.8
3	老衰	3,513	141.4	11.2	老衰	2,990	119.4	老衰	179,524	147.1
4	脳血管疾患	2,053	82.6	6.5	脳血管疾患	1,962	78.3	脳血管疾患	107,473	88.1
5	誤嚥性肺炎	1,241	49.9	3.9	肺炎	1,161	46.3	肺炎	74,002	60.6
6	肺炎	1,166	46.9	3.7	誤嚥性肺炎	1,111	44.4	誤嚥性肺炎	56,068	15.9
7	腎不全	639	25.7	2.0	腎不全	573	22.9	不慮の事故	43,357	35.5
8	不慮の事故	601	24.2	1.9	不慮の事故	558	22.3	腎不全	30,740	25.2
9	アルツハイマー病	533	21.4	1.7	アルツハイマー病	462	18.4	アルツハイマー病	24,860	20.4
10	血管性及び詳細不明の認知症	518	20.8	1.6	間質性肺疾患	429	17.1	血管性及び詳細不明の認知症	24,360	20.0

注 令和3年は確定数  
死亡率は人口10万対である。

図4 主要死因別死亡率の年次推移(人口10万対)

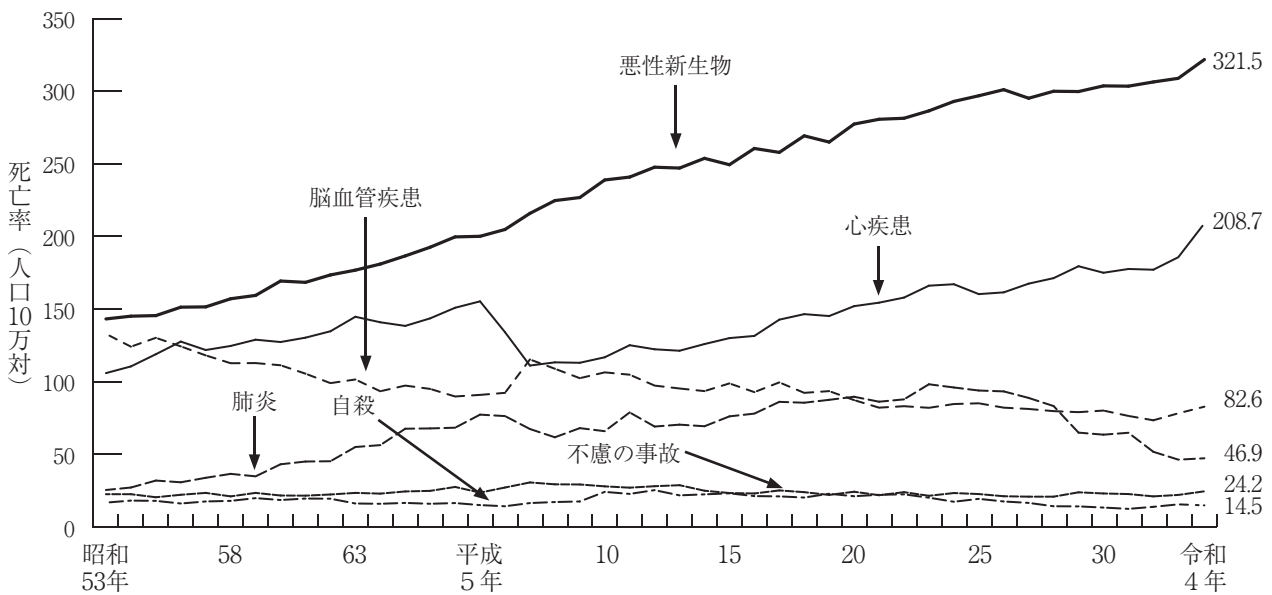
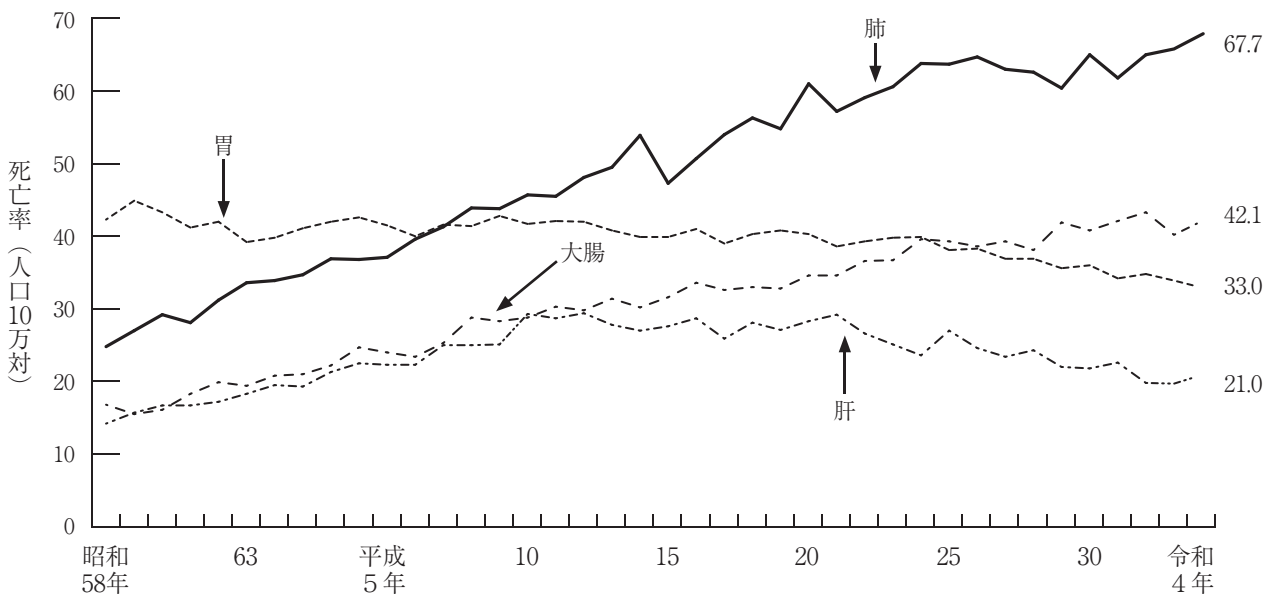


図5 悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率の年次推移(人口10万対)



男女別死亡率をみると、男性の死亡率（人口10万対）は、「肺」が平成3年以降第1位で、98.8となり、前年より4.4ポイント上昇しました。

第2位は「大腸」で45.4と、前年より0.4ポイント上昇し、2年ぶりに「胃」による死亡率を上回りました。

第3位は「胃」で42.5、第4位は「肝」で29.8となりました。

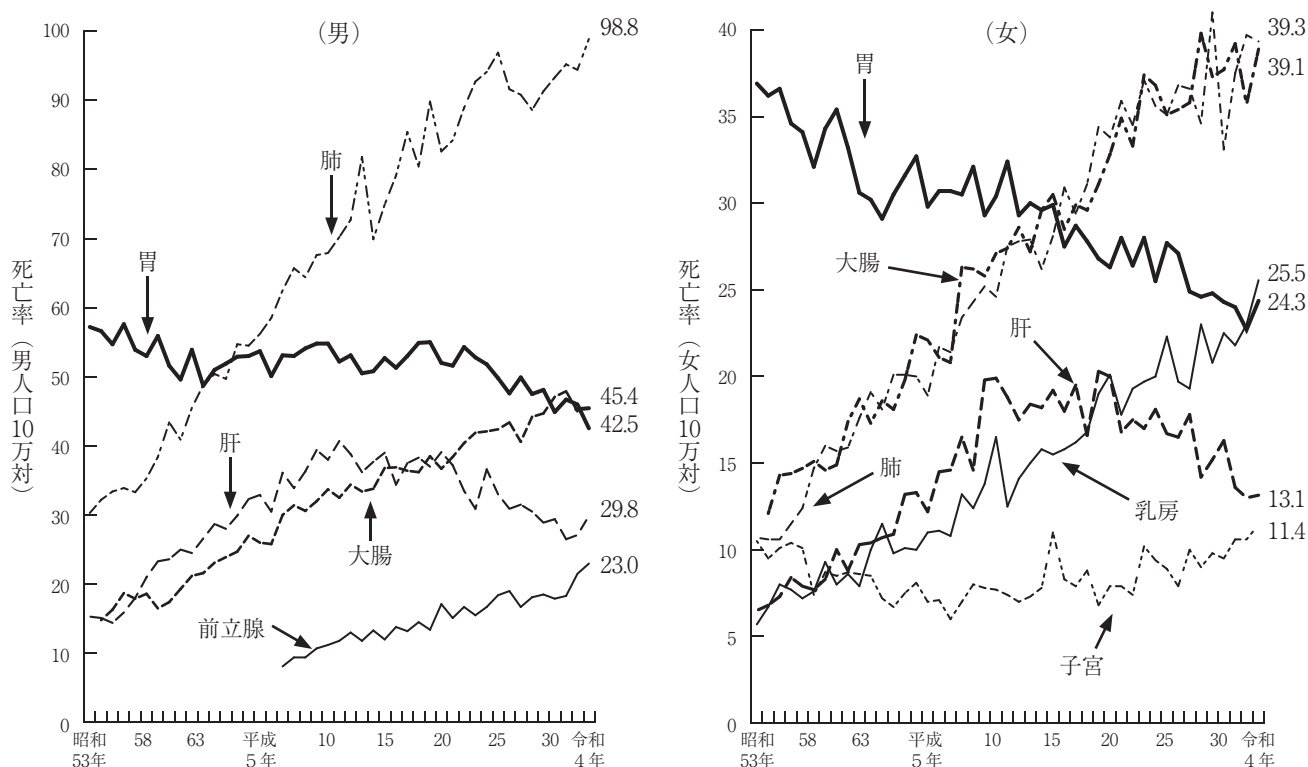
女性の死亡率（人口10万対）は、「肺」が39.3で第1位となり、前年より0.4ポイント低下しました。

第2位は「大腸」で39.1、第3位は「乳房」で25.5となりました。

「胃」は24.3で前年より1.6ポイント上昇し、「子宮」は11.4で前年より0.8ポイント上昇しました。

（図6）

図6 悪性新生物（がん）の性別・主な部位別死亡率の年次推移（人口10万対）



- 注1 文中、図5及び図6において肺とは、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。
- 注2 文中、図5及び図6において大腸とは、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物である。
- 注3 文中、図5及び図6において肝とは、肝及び肝内胆管の悪性新生物である。
- 注4 図6において大腸の昭和53年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。
- 注5 図6において前立腺の平成6年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。

#### 4 乳児死亡・新生児死亡

一乳児死亡率は1ポイント上昇、

新生児死亡率は0.4ポイント上昇一

令和4年の乳児死亡数は31人で、前年より13人増加し、乳児死亡率（出生千対）は2.1で、前年より1ポイント上昇しました。

新生児死亡数は14人で、前年より6人増加し、新生児死亡率（出生千対）は0.9で、前年より0.4ポイント上昇しました。（表1）

#### 5 自然増減

一自然減少数は1万人を超える一

出生数から死亡数を減じた自然増減数は、平成17年に初めてマイナスに転じて以降、自然減少が続いており、令和4年には1万6421人となり、4年連続で1万人を超えました。自然増減率（人口千対）はマイナス6.6で、前年より1.6ポイント低下しました。（表1）

## 6 死産

### —死産率は1.3ポイント上昇—

令和4年の死産数は322胎で前年より6胎増加、死産率（出産千対）は20.9と、前年より1.3ポイント上昇しました。（表1）

## 7 婚姻

### —平均初婚年齢 夫は31.3歳、妻は30.0歳 男女とも晩婚化進む—

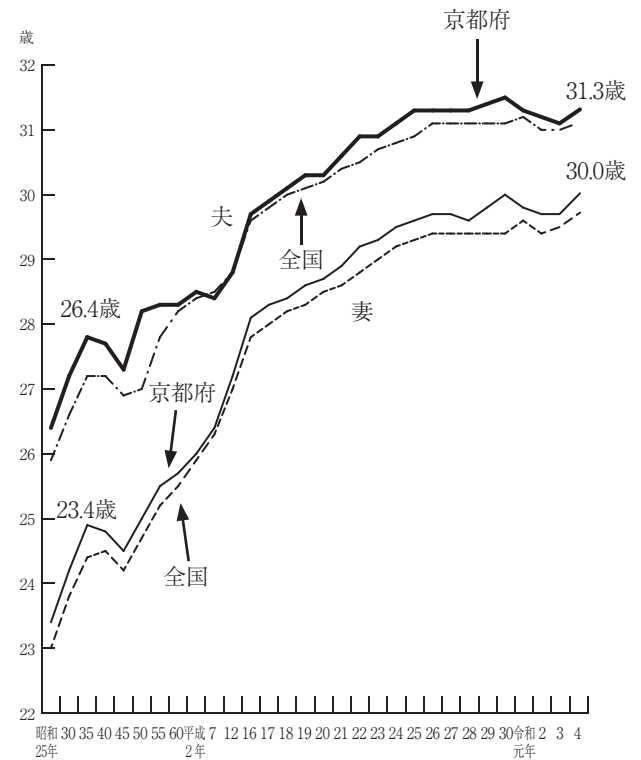
令和4年の婚姻件数は9570組で前年より153組増加し、婚姻率（人口千対）は前年より0.1ポイント上昇し、3.9となりました。（表1）

また、平均初婚年齢は、夫が31.3歳で前年より0.2歳上昇し、妻が30.0歳で前年より0.3歳上昇しました。

平均初婚年齢の推移をみると、昭和25年以降は上昇傾向が続き、昭和25年（夫＝26.4歳、妻＝23.4歳）と比べると、夫は4.9歳、妻は6.6歳上昇しており、男女とも晩婚化が進んでいます。

（図7）

図7 平均初婚年齢の推移



注1 昭和40年以前は、結婚式をあげた時の年齢、45年以降は、結婚式をあげた時又は同居をはじめたときの年齢  
2 記載の年齢は京都府の初婚年齢

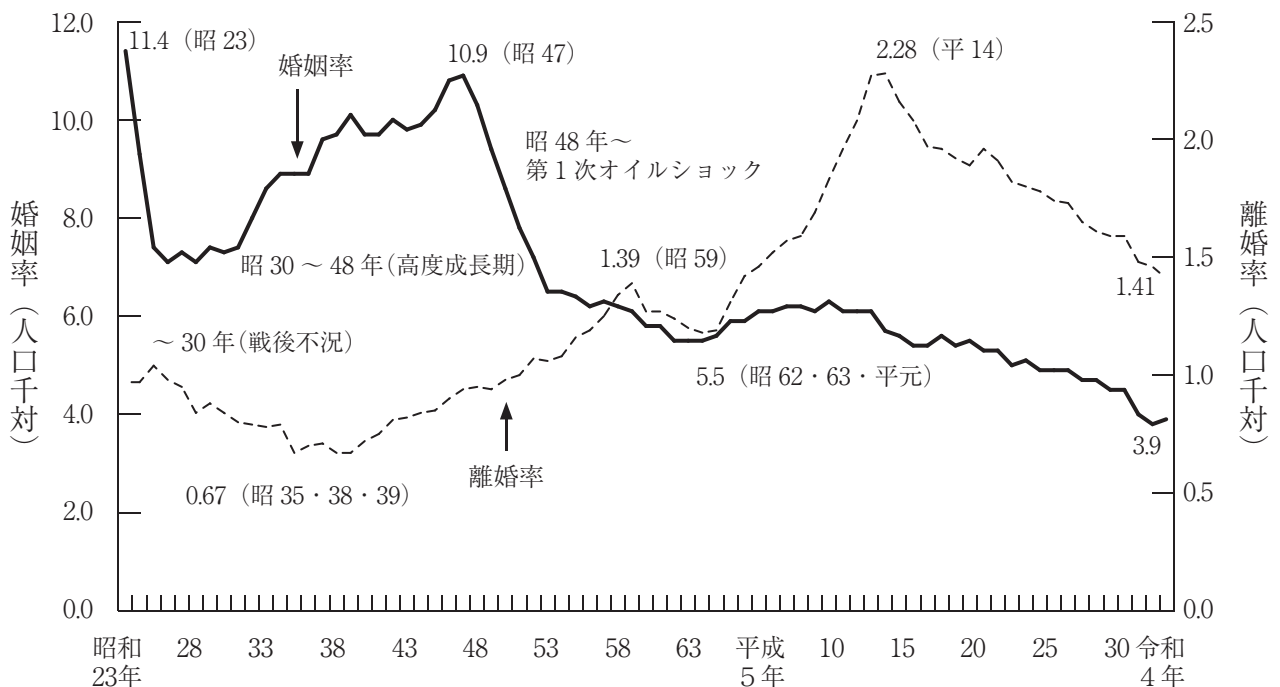
## 8 離婚

### —離婚件数は減少傾向が続く—

令和4年の離婚件数は3515組で、前年より143組減少し、離婚率（人口千対）は前年より0.05ポイント低下し、1.41となりました。（表1）

離婚率の推移をみると、昭和35年、38年、39年に戦後最低（離婚率0.67）となった後上昇し、59年以降低下していましたが、平成2年から再び上昇に転じ、平成14年には過去最高の2.28を記録し、その後は低下傾向が続いています。（図8）

図8 婚姻率・離婚率の年次推移（人口千対）





第1表 人口動態（概数）保健所、市町村別（令和4年）

区 分	出生数			死亡数			乳 児 死亡数	新生児 死亡数	死産数	婚 件	姻 数	離 件	婚 数	自 然 増加数
	総数	男	女	総数	男	女								
総 数	15,068	7,667	7,401	31,489	15,973	15,516	31	14	322	9,570	3,515	△16,421		
京 都 市	8,372	4,249	4,123	17,137	8,605	8,532	19	9	178	6,128	1,997	△8,765		
その他の市町村	6,696	3,418	3,278	14,352	7,368	6,984	12	5	144	3,442	1,518	△7,656		
乙訓保健所	1,159	598	561	1,604	823	781	2	1	24	604	183	△445		
向日市	402	212	190	604	318	286	-	-	10	226	89	△202		
長岡京市	577	284	293	827	415	412	2	1	11	303	75	△250		
大山崎町	180	102	78	173	90	83	-	-	3	75	19	7		
山城北保健所	2,316	1,173	1,143	5,164	2,761	2,403	7	3	52	1,277	622	△2,848		
宇治市	997	513	484	2,205	1,188	1,017	3	1	27	574	259	△1,208		
城陽市	390	184	206	1,007	508	499	2	-	6	229	102	△617		
八幡市	336	178	158	861	488	373	2	2	2	193	99	△525		
京田辺市	445	221	224	682	362	320	-	-	12	181	103	△237		
久御山町	71	37	34	188	102	86	-	-	3	49	24	△117		
井手町	39	19	20	111	55	56	-	-	1	27	17	△72		
宇治田原町	38	21	17	110	58	52	-	-	1	24	18	△72		
山城南保健所	785	412	373	1,147	583	564	-	-	10	302	157	△362		
木津川市	580	311	269	679	355	324	-	-	9	214	108	△99		
笠置町	1	-	1	35	15	20	-	-	-	5	-	△34		
和束町	11	9	2	68	33	35	-	-	-	3	9	△57		
精華町	186	88	98	321	156	165	-	-	1	78	38	△135		
南山城村	7	4	3	44	24	20	-	-	-	2	2	△37		
南丹保健所	677	344	333	1,837	928	909	-	-	25	337	183	△1,160		
亀岡市	472	245	227	1,010	518	492	-	-	17	251	131	△538		
南丹市	165	77	88	536	267	269	-	-	7	69	35	△371		
京丹波町	40	22	18	291	143	148	-	-	1	17	17	△251		
中丹西保健所	602	307	295	1,111	549	562	1	-	7	296	99	△509		
福知山市	602	307	295	1,111	549	562	1	-	7	296	99	△509		
中丹東保健所	691	340	351	1,791	909	882	2	1	13	370	176	△1,100		
舞鶴市	531	262	269	1,187	603	584	2	1	10	276	131	△656		
綾部市	160	78	82	604	306	298	-	-	3	94	45	△444		
丹後保健所	466	244	222	1,698	815	883	-	-	13	256	98	△1,232		
宮津市	70	39	31	332	145	187	-	-	1	43	20	△262		
京丹後市	284	148	136	938	479	459	-	-	6	148	61	△654		
伊根町	8	4	4	41	20	21	-	-	1	6	2	△33		
与謝野町	104	53	51	387	171	216	-	-	5	59	15	△283		

第2表 人口動態統計 実数及び率の年次推移

(単位：人、胎、組)

区 分	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		婚 姻		離 婚		自然増加	
	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (出生千対)	実 数	率 (出産千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)
昭和22年	53,828	31.0	25,686	14.8	3,705	68.8	2,429	43.2	18,294	10.5	1,750	1.01	28,142	16.2
23	54,287	30.5	19,892	11.2	2,866	52.8	2,920	51.0	20,285	11.4	1,727	0.97	34,395	19.3
24	52,248	28.8	19,638	10.8	2,058	39.4	4,313	76.2	16,916	9.3	1,765	0.97	32,610	18.0
25	41,236	22.5	17,850	9.7	2,079	50.4	4,587	100.1	13,643	7.4	1,903	1.04	23,386	12.8
26	36,493	19.7	16,341	8.8	1,804	49.4	4,452	108.7	13,168	7.1	1,813	0.98	20,152	10.9
27	32,802	17.5	15,417	8.2	1,401	42.7	3,943	107.3	13,705	7.3	1,788	0.95	17,385	9.3
28	29,907	15.8	15,562	8.2	1,237	41.4	3,672	109.4	13,388	7.1	1,591	0.84	14,345	7.6
29	28,717	15.1	14,139	7.4	1,089	37.9	3,516	109.1	14,109	7.4	1,673	0.88	14,578	7.7
30	27,943	14.4	13,797	7.1	909	32.5	3,319	106.2	14,079	7.3	1,630	0.84	14,146	7.3
31	27,724	14.2	15,081	7.7	963	34.7	3,285	105.9	14,488	7.4	1,560	0.80	12,643	6.5
32	26,688	13.6	15,549	7.9	843	31.6	3,234	108.1	15,685	8.0	1,556	0.79	11,139	5.7
33	28,665	14.5	14,356	7.3	811	28.3	3,455	107.6	17,041	8.6	1,535	0.78	14,309	7.2
34	29,282	14.7	14,610	7.3	818	27.9	3,479	106.2	17,651	8.9	1,577	0.79	14,672	7.4
35	29,194	14.6	15,265	7.7	747	25.6	3,356	103.1	17,709	8.9	1,327	0.67	13,929	7.0
36	29,213	14.6	14,866	7.4	746	25.5	3,372	103.5	17,960	8.9	1,410	0.70	14,347	7.1
37	31,129	15.4	15,080	7.4	695	22.3	3,468	100.2	19,459	9.6	1,437	0.71	16,049	7.9
38	32,108	15.7	14,555	7.1	638	19.9	3,399	95.7	19,931	9.7	1,379	0.67	17,553	8.6
39	34,258	16.5	14,613	7.1	612	17.9	3,395	90.2	20,941	10.1	1,396	0.67	19,654	9.5
40	36,703	17.5	15,109	7.2	587	16.0	3,284	82.1	20,310	9.7	1,520	0.72	21,594	10.3
41	27,755	13.1	14,732	6.9	475	17.1	2,858	93.4	20,513	9.7	1,587	0.75	13,023	6.1
42	39,254	18.6	14,813	7.0	573	14.6	2,902	68.8	21,160	10.0	1,718	0.81	24,441	11.6
43	39,240	18.3	14,868	6.9	521	13.3	2,882	68.4	21,098	9.8	1,755	0.82	24,372	11.4
44	39,750	18.3	15,135	7.0	575	14.5	2,813	66.1	21,440	9.9	1,822	0.84	24,615	11.3
45	41,235	18.7	15,577	7.0	481	11.7	2,704	61.5	22,621	10.2	1,871	0.85	35,658	11.6
46	42,413	19.1	15,279	6.9	494	11.6	2,692	59.7	24,143	10.8	2,000	0.90	27,134	12.2
47	44,107	19.4	15,208	6.7	454	10.3	2,535	54.4	24,826	10.9	2,135	0.94	28,899	12.7
48	44,885	19.5	15,995	6.9	478	10.6	2,509	52.9	23,850	10.3	2,201	0.95	28,890	12.5
49	43,438	18.6	15,986	6.8	433	10.0	2,379	51.9	21,851	9.4	2,192	0.94	27,452	11.8
50	39,921	16.8	15,460	6.5	353	8.8	2,192	52.1	20,514	8.6	2,329	0.98	24,461	10.3
51	38,636	16.0	15,544	6.4	344	8.9	2,359	57.5	28,738	7.8	2,401	1.00	23,092	9.6
52	36,870	15.2	15,260	6.3	303	8.2	1,995	51.3	17,507	7.2	2,599	1.07	21,610	8.9
53	35,943	14.6	15,464	6.3	289	8.0	1,810	47.9	16,031	6.5	2,590	1.06	20,479	8.3
54	33,464	13.5	15,553	6.3	240	7.2	1,698	48.3	16,117	6.5	2,661	1.08	17,911	7.2
55	32,139	12.9	16,059	6.5	209	6.5	1,622	48.0	15,916	6.4	2,884	1.16	16,080	6.5
56	30,498	12.2	16,174	6.5	200	6.6	1,662	51.7	15,571	6.2	2,980	1.19	14,324	5.7
57	30,493	12.1	16,059	6.4	194	6.4	1,522	47.5	15,794	6.3	3,134	1.25	14,434	5.7
58	30,627	12.1	16,214	6.4	193	6.3	1,435	44.8	15,776	6.2	3,382	1.34	14,413	5.7
59	30,390	12.0	16,637	6.6	181	6.0	1,325	41.8	15,370	6.1	3,529	1.39	13,753	5.4
60	28,479	11.1	16,942	6.6	143	5.0	1,360	45.6	14,932	5.8	3,248	1.27	11,537	4.5
61	28,358	11.1	16,864	6.6	148	5.2	1,282	43.3	14,839	5.8	3,241	1.27	11,494	4.5
62	26,603	10.4	16,912	6.6	121	4.5	1,252	44.9	14,025	5.5	3,179	1.24	9,691	3.8
63	26,192	10.2	17,608	6.9	135	5.2	1,093	40.1	14,076	5.5	3,071	1.20	8,584	3.4
平成元年	24,855	9.7	17,327	6.8	99	4.0	1,015	39.2	14,026	5.5	3,021	1.18	7,528	2.9
2	24,209	9.5	18,031	7.1	118	4.9	1,039	41.2	14,337	5.6	3,050	1.19	6,178	2.4
3	23,487	9.2	18,331	7.2	111	4.7	947	38.8	15,018	5.9	3,346	1.31	5,156	2.0
4	23,838	9.3	18,822	7.3	129	5.4	919	37.1	15,101	5.9	3,640	1.42	5,016	2.0
5	23,082	9.0	19,202	7.5	125	5.4	826	34.5	15,647	6.1	3,738	1.46	3,880	1.5
6	24,245	9.5	18,821	7.4	122	5.0	838	33.4	15,716	6.1	3,891	1.52	5,424	2.1
7	23,219	9.0	19,321	7.5	97	4.2	777	32.4	15,887	6.2	4,047	1.57	3,898	1.5
8	24,023	9.3	19,068	7.4	95	4.0	748	30.2	16,153	6.2	4,115	1.59	4,955	1.9
9	23,595	9.1	19,239	7.4	91	3.9	701	28.9	15,869	6.1	4,384	1.69	4,356	1.7
10	24,312	9.4	19,868	7.7	79	3.2	736	29.4	16,273	6.3	4,732	1.83	4,444	1.7
11	23,831	9.2	20,690	8.0	95	4.0	699	28.5	15,682	6.1	5,089	1.96	3,141	1.2
12	23,997	9.2	20,233	7.8	78	3.3	694	28.1	15,781	6.1	5,403	2.08	3,763	1.4
13	23,364	9.0	20,027	7.7	60	2.6	698	29.0	15,775	6.1	5,903	2.27	3,336	1.3
14	22,859	8.8	20,320	7.8	68	3.0	702	29.8	14,899	5.7	5,922	2.28	2,539	1.2
15	22,371	8.6	20,669	8.0	67	3.0	664	28.8	14,478	5.6	5,612	2.16	1,702	0.7
16	22,066	8.5	21,126	8.1	63	2.9	721	31.6	14,127	5.4	5,408	2.08	940	0.4
17	21,560	8.3	22,134	8.5	54	2.5	600	27.1	14,030	5.4	5,116	1.97	△ 574	△ 0.2
18	22,100	8.5	22,419	8.6	48	2.2	559	24.7	14,477	5.6	5,091	1.96	△ 319	△ 0.1
19	21,597	8.3	22,619	8.7	51	2.4	521	23.6	13,978	5.4	4,962	1.92	△ 1,022	△ 0.4
20	21,842	8.4	23,015	8.9	54	2.5	507	22.7	14,239	5.5	4,877	1.89	△ 1,173	△ 0.5
21	21,058	8.2	23,191	9.0	44	2.1	432	20.1	13,640	5.3	5,054	1.96	△ 2,133	△ 0.8
22	21,234	8.2	23,714	9.1	52	2.4	482	22.2	13,664	5.3	4,964	1.91	△ 2,480	△ 1.0
23	20,707	8.0	24,733	9.5	40	1.9	476	22.5	12,900	5.0	4,713	1.82	△ 4,026	△ 1.6
24	20,111	7.8	25,416	9.8	40	2.0	464	22.6	13,189	5.1	4,646	1.80	△ 5,305	△ 2.1
25	20,106	7.8	25,332	9.8	52	2.6	440	21.4	12,746	4.9	4,581	1.78	△ 5,226	△ 2.0
26	19,583	7.6	25,507	9.9	35	1.8	447	22.3	12,671	4.9	4,462	1.74	△ 5,924	△ 2.3
27	19,662	7.7	25,495	9.9	50	2.5	427	21.3	12,458	4.9	4,434	1.73	△ 5,833	△ 2.3
28	19,327	7.6	25,850	10.1	41	2.1	401	20.3	12,142	4.7	4,222	1.65	△ 6,523	△ 2.5
29	18,521	7.3	26,430	10.4	27	1.5	355	18.8	11,875	4.7	4,104	1.61	△ 7,909	△ 3.1
30	17,909	7.1	26,654	10.5	31	1.7	362	19.8	11,491	4.5	4,046	1.59	△ 8,745	△ 3.4
令和元年	16,993	6.7	27,028	10.7	34	2.0	359	20.7	11,497	4.5	4,022	1.59	△ 10,035	△ 4.0
2	16,440	6.5	26,860	10.7	21	1.3	297	17.7	10,197	4.0	3,742	1.48	△ 10,420	△ 4.1
3	15,818	6.3	28,316	11.3	18	1.1	316	19.6	9,417	3.8	3,658	1.46	△ 12,498	△ 5.0
4	15,068	6.1	31,489	12.7	31	2.1	322	20.9	9,570	3.9	3,515	1.41	△ 16,421	△ 6.6

注 令和4年は概数である。